ABiLINX 2515
取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.4 版

管理番号:TEC-00-MA0180-01.4

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社(ハイテクインター株式会社)の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

改版履歴

第 1 版　2014 年 12 月 26 日	新規作成
第 1.1 版 2015 年 02 月 17 日	System Log に関する内容を追記
第 1.2 版　2015 年 03 月 18 日	ログインの WEB ブラウザ等について追記
第 1.3 版　2015 年 04 月 03 日	SNTP 設定等に関する内容を修正
第 1.4 版　2015 年 09 月 28 日	モデム間の距離に応じた設定を追記

ご使用上の注意事項

- 本製品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。
  また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1 梱包物一覧 7

2 製品外観 8

2.1 前面 8
2.2 背面 9
2.3 DSL ポートのピン配列 10

3 設置手順 11

4 モデムの基本設定 13

4.1 ログイン 13
4.2 各種設定 14
4.3 親機,子機の設定 16

5 詳細設定 ADVANCED 18

5.1 SHDSL.bis 18
5.2 LAN 21
5.3 LAN 22
5.4 BRIDGE 23
5.5 Ethernet 24
5.6 STP 25
5.7 ROUTE 26

6 モデムのステータス表示 STATUS 27

6.1 SHDSL.bis 27
6.2 LAN 28
6.3 WAN 29
6.4 Ethernet 30
6.5 ROUTE 31
6.6 INTERFACE 32
6.7 STP 33

7 管理機能の設定 ADMIN 34
7.1 SECURITY 34
7.2 SNMP 36
7.3 SYSLOG 38
7.4 TIME SYNC 39
8 その他補完機能 UTILITY 40
8.1 SYSTEM INFO 40
8.2 SYSLOG 41
8.3 CONFIG TOOL 42
8.4 FIRMWARE UPGRADE 43
8.5 LOGOUT 44
8.6 RESTART 45
9 コマンドライン(CLI)による操作 46
9.1 ログイン 46
9.2 コンソール操作方法 48
9.3 コマンド一覧 49
10 製品仕様 54
11 よくあるトラブルとその対応について 55
11.1 モデムの電源が入らない 55
11.2 SHDSL リンクが確立しない 55
11.3 SHDSL リンクが安定しない 55
11.4 Ethernet リンクが確立しない 55
11.5 落雷・瞬断による機器の不具合について 56
12 製品保証 57

1 梱包物一覧

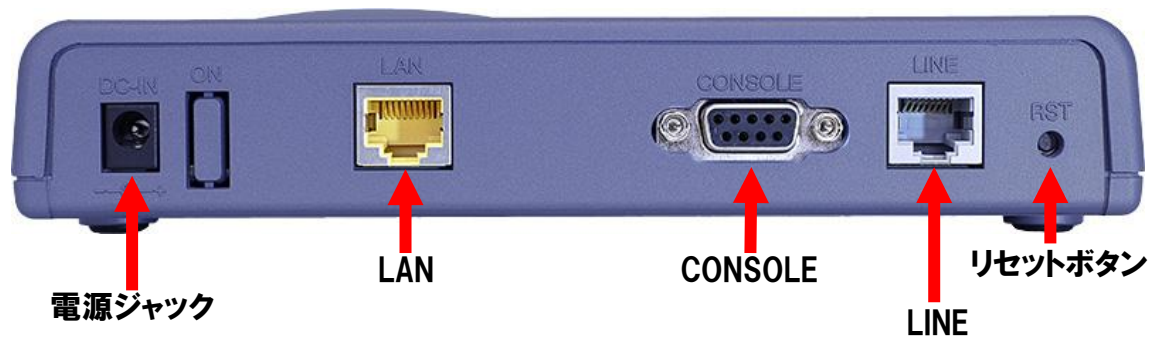
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名　称	数 量
ABiLINX 2515 本体	1 台
AC アダプタ	1 個
RJ45-RJ11 変換ケーブル	1 本

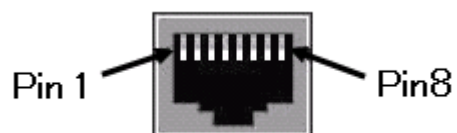
2 製品外観

2.1 前面

LED	色	状態	表示内容
PWR	緑	点灯	電源が供給されています。
	−	消灯	電源が供給されていません。
LNK	緑	点灯	正常に DSL リンクが確立されています。
	緑	点滅	ネゴシエーション中です。
	緑	消灯	DSL リンクが確立されていません。
ACT	緑	点灯	DSL 間でデータを送受信しています。
	−	消灯	データの送受信は行われていません。
10M/ACT	緑	点灯	Ethernetリンクが 10Mbps で確立されています。
	緑	点滅	データ通信中です。
	−	消灯	ポートはアイドル状態です。
100M/ACT	緑	点灯	Ethernetリンクが 100Mbps で確立されています。
	緑	点滅	データ通信中です。
	−	消灯	ポートはアイドル状態です。
ALM	赤	点灯	SHDSL リンクが切れている状態です。
	赤	点滅	セルフテスト中です。
	−	消灯	モデムは正常に動作しています。

2.2 背面

ポート名	説明
DC-IN	電源ジャックです。 付属の AC アダプタを接続します。
LAN	LAN ポートです。データ通信する端末を接続します。
CONSOLE	コンソールポートです。CLI でモデムにログインします。 仕様は以下です。 ・ ボーレート:9600 ・ データビット:8 ・ パリティビット:なし ・ ストップビット:1 ・ フローコントロール:なし
LINE	DSLポートです。モデムとモデムを接続します。
RST	リセットボタンです。 起動中に押すことで、以下の操作を行うことができます。 1～3秒: システムの再起動をします。 4秒以上: 工場出荷時の状態に戻します。

2.3 DSL ポートのピン配列

<LINE ポート RJ-45>

信号	ピン番号
–	1
–	2
–	3
DSL	4
DSL	5
–	6
–	7
–	8

<LAN ポート RJ-45>

ピン番号	シグナル
1	TD+
2	TD–
3	RD+
4	–
5	–
6	RD–
7	–
8	–

3 設置手順

1. DSL ケーブル(RJ11/45)※1 を LINE ポートに接続する

↓

2. LAN ケーブル(RJ-45)を LAN ポートに接続する

↓

3. AC アダプタを DC-IN ポートに接続する

↓

4. http://192.168.0.1 に接続する

↓

5. モデムを CO(親機)に設定する

↓

6. CO の BASIC、ADVANCED を設定する

↓

7. CO 機の設定を保存する

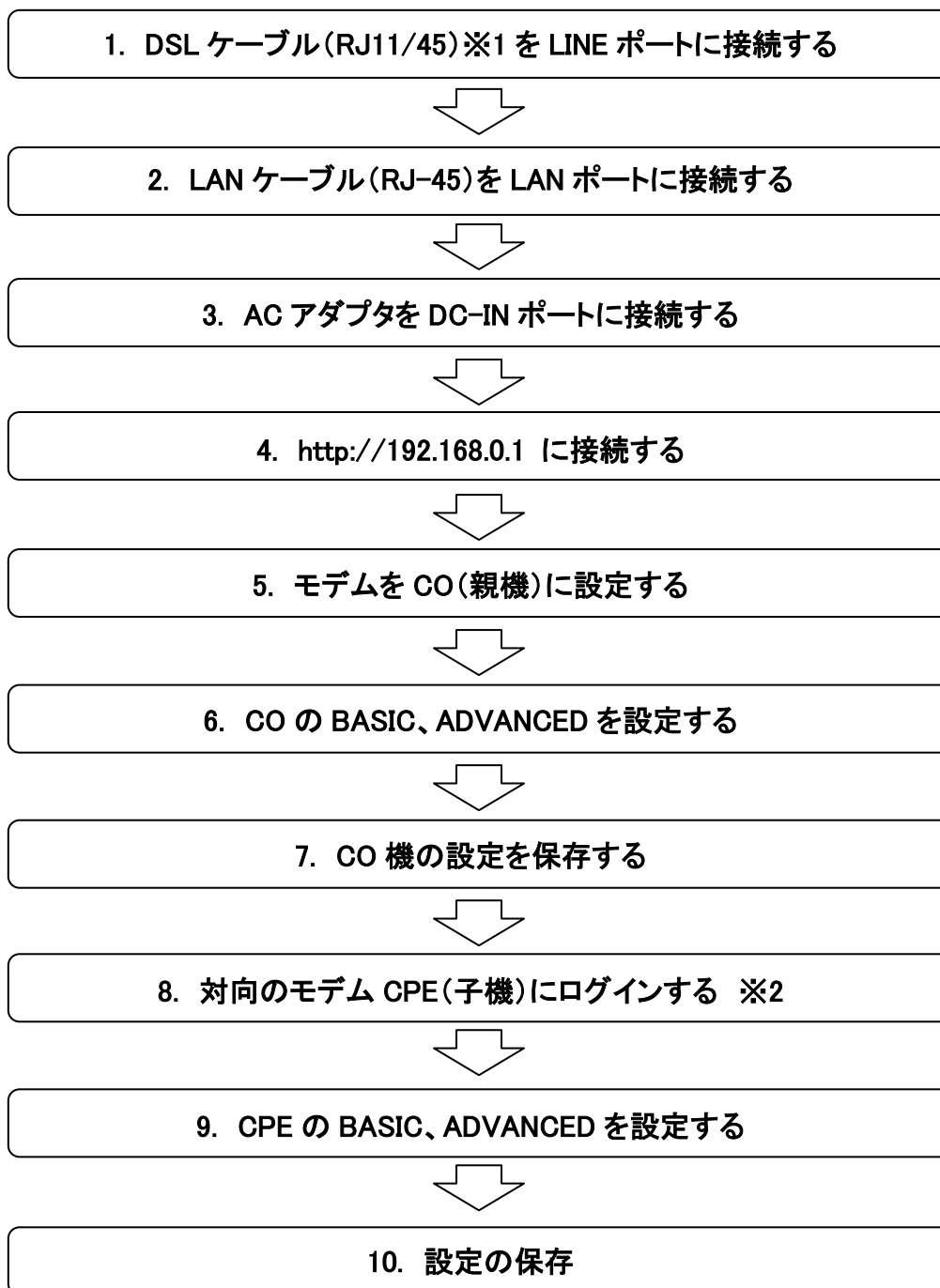
↓

8. 対向のモデム CPE(子機)にログインする ※2

↓

9. CPE の BASIC、ADVANCED を設定する

↓

10. 設定の保存

※　1　設置手順 1.『DSL ケーブル』は、付属のケーブル、またはツイストペアケーブルを使用してください。他のケーブルでは、ノイズの原因となる可能性があります。

※　2　一台の PC でモデム 2 台の設定を行う場合、ARP テーブルが原因で 2 台目のモデムにログインできない場合があります。この場合、コマンドプロンプトにて ”arp -d” コマンドを実行し、ARP テーブルの消去を行って下さい。

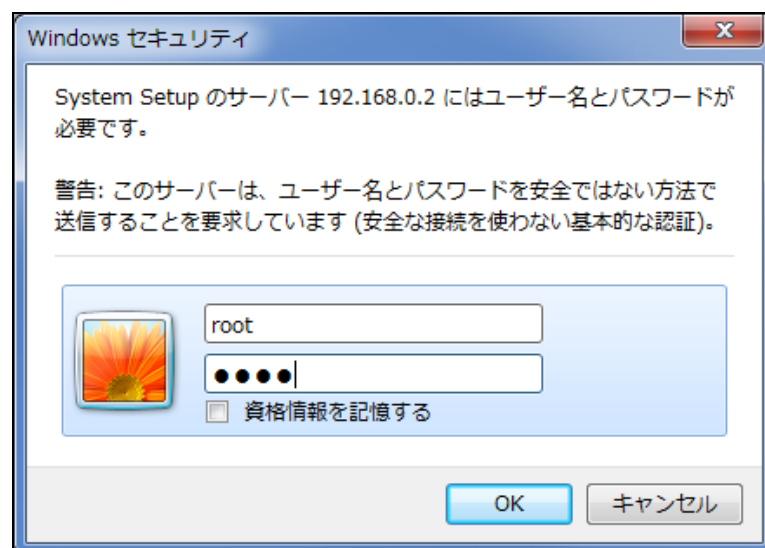
4 モデムの基本設定

4.1 ログイン

モデムの設定は、WEB ブラウザを使用して行います。
推奨 WEB ブラウザは IE10 となります。
※Chrome では正しく設定できない場合がありますので、
推奨 WEB ブラウザの IE10 を使用してください。

① 端末の LAN ポートと、モデムの LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。
端末とモデムがリンクをすると、モデムの LAN ランプが緑色に点灯します。

② Internet Explorer を起動してアドレスバーの欄に、モデムの IP アドレスを入力します。工場出荷時のモデムの IP アドレスは 192.168.0.1、管理画面の URL は http://192.168.0.1 です。サブネットマスクは 255.255.255.0 です。事前に端末のネットワーク設定をモデムと同じネットワーク設定にしておく必要があります。

③ モデムに接続するとユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。

ユーザ名	root (初期値)
パスワード	root (初期値)

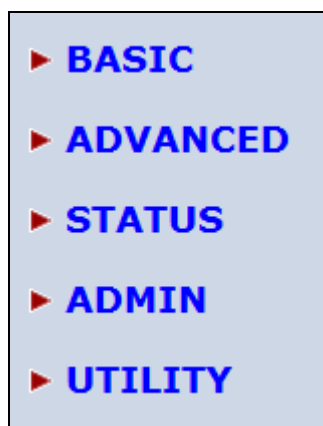
④ ユーザ名とパスワードを入力し、OK ボタンをクリックするとモデムにログインすることができます。

4.2 各種設定

管理画面の起動画面は、次にようになっています。

管理画面には、次のメニューが用意されています。
各項目をクリックすることで、下層のメニューを表示することができます。

1. BASIC
   モデムの基本設定をします。

▶ BASIC
▶ ADVANCED
▶ STATUS
▶ ADMIN
▶ UTILITY

2. ADVANCED

モデムの各種設定をします。

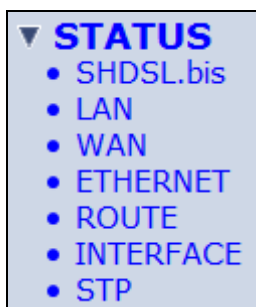
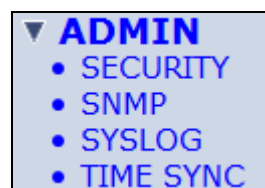
▼ ADVANCED
- SHDSL.bis
- LAN
- WAN
- BRIDGE
- ETHERNET
- STP
- ROUTE
- NAT
- VIRTUAL SERVER

3. STATUS

モデムの状態を参照します。

▼ STATUS
- SHDSL.bis
- LAN
- WAN
- ETHERNET
- ROUTE
- INTERFACE
- STP

4. ADMIN

管理者情報を編集します。

▼ ADMIN
- SECURITY
- SNMP
- SYSLOG
- TIME SYNC

5. UTILITY

モデムの情報と設定の確認ができます。

▼ UTILITY
- SYSTEM INFO
- SYSLOG
- CONFIG TOOL
- UPGRADE
- LOGOUT
- RESTART

4.3 親機,子機の設定

BASIC – STEP1

System Mode	BRIDGE モードのみサポートしております。
SHDSL.bis Mode	CO(親機)CPE(子機)からお選びください。

選択が出来ましたら Next をクリックして次の設定をして下さい。

BASIC – STEP2

モデムの IP アドレスの設定を行います。必要情報を入力し Next ボタンをクリックして下さい。この IP アドレスを使用してモデムにログインすることができます。工場出荷時の設定は次のようになっています。

IP Address	初期値 192.168.0.1
Subnet Mask	初期値 255.255.255.0

BASIC – REVIEW

REVIEW:
To let the configuration that you have changed take effect immediately, please click Restart button to reboot the system. To continue the setup procedure, please click Continue button.

■ **System Operation Mode:**

System Mode	Bridge Mode
SHDSL.bis Mode	CPE Side

■ **LAN Interface:**

IP Type	Fixed
IP Address	192.168.0.1
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.0.254
DNS Server 1	168.95.1.1
DNS Server 2	168.95.192.1
DNS Server 3	
Hostname	SOHO

■ **WAN1 interface:**

VPI	0
VCI	32
AAL5 Encap.	LLC

Continue　Restart

最後に設定を確認します。

※この時点では起動コンフィグに保存されていません。Restartボタンを押してモデムの再起動をして下さい。(再起動時に設定は保存されます。)

5 詳細設定 ADVANCED

5.1 SHDSL.bis

Operation Mode:

■ **Setup Operation Mode:**

Annex Type: ◯ Annex A ◯ Annex B ◯ Annex AF ◉ Annex BG
TCPAM Type: ◉ Auto ◯ TCPAM-16 ◯ TCPAM-32 ◯ TCPAM-64 ◯ TCPAM-128
Max Data Rate(n*64kbps): 89 (range:3~89)
Min Data Rate(n*64kbps): 3 (range:3~89)
SNR margin: 5 (range:-10~21)
TC Layer: ◉ EFM Layer ◯ ATM Layer
Line Probe: ◯ Disable ◯ Enable(CC) ◉ Enable(WC)

SHDSL の設定を行います。各パラメータを変更後、Finish ボタンをクリックします。

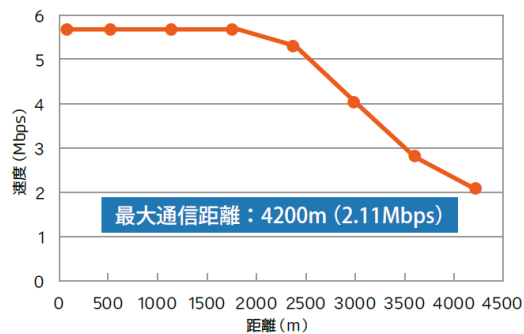
※ 設定は、CO(親機)と CPE(子機)で設定値を同じにする必要があります。

■Operation Mode

Annex Type	使用する Annex モードを選択します。本製品は、Annex BG のみサポートしております。
TCPAM Type	パルス振幅変調を設定します。最大通信速度と到達距離の参考値は下記のグラフのとおりです。また親機と子機は同じ値にして下さい。
Max Data Rate	最大転送速度を設定します。 設定範囲は選択した TCPAM Type に依存します。
Min Data Rate	最小転送速度を設定します。 設定範囲は選択した TCPAM Type に依存します。
SNR margin	ノイズマージンの値(dB)を設定します。デフォルトは“5dB”です。
TC Layer	使用するモードを選択します。 本製品は、EFM モードのみサポートしております。
Line Probe	TCPAM Type で Auto を選択した場合は Enable にする必要があります。 Enable(CC) 2Km 以内の距離を効率的に通信します。 Enable(WC) 2Km 以上の距離を効率的に通信します。

リンク速度グラフ
（TCPAM Type設定：Auto/BASERATE設定：Autoの場合）

速度（Mbps）: 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0
距離（m）: 0, 500, 1000, 1500, 2000, 2500, 3000, 3500, 4000, 4500

最大通信距離：4200m（2.11Mbps）

※ラインシミュレータ（線径0.4mmノイズ無し）での測定結果です。

通信速度・距離データ

TCPAM Type設定	BASERATE設定※	速度	距離
16	3	0.19Mbps	7500m
16	60	3.84Mbps	3300m
32	89	5.69Mbps	2700m
64	199	12.7Mbps	900m
128	239	15.2Mbps	600m

※BASERATE設定範囲

TCPAM Type設定	BASERATE設定
Auto	3～89
16	3～60
32	12～89
64	3～199
128	3～239

線径 0.4mm 時の距離に応じた推奨設定は以下のとおりです。

■0～1.2Km 程度まで

■1.2～3Km 程度まで

■3～4Km 程度まで

Operation Mode:

- **Setup Operation Mode:**

Annex Type:	○ Annex AF ◉ Annex BG
TCPAM Type:	◉ Auto ○ TCPAM-16 ○ TCPAM-32 ○ TCPAM-64 ○ TCPAM-128
Max Data Rate(n*64kbps):	89 (range:3~89)
Min Data Rate(n*64kbps):	3 (range:3~89)
SNR margin:	5 (range:-10~21)
TC Layer:	◉ EFM Layer ○ ATM Layer
Line Probe:	○ Disable ○ Enable(CC) ◉ Enable(WC)

■4～7.5Km 程度まで

Operation Mode:

- **Setup Operation Mode:**

Annex Type:	○ Annex AF ◉ Annex BG
TCPAM Type:	○ Auto ◉ TCPAM-16 ○ TCPAM-32 ○ TCPAM-64 ○ TCPAM-128
Max Data Rate(n*64kbps):	60 (range:3~60)
Min Data Rate(n*64kbps):	3 (range:3~60)
SNR margin:	5 (range:-10~21)
TC Layer:	◉ EFM Layer ○ ATM Layer
Line Probe:	◉ Disable ○ Enable(CC) ○ Enable(WC)

※距離に応じて Max Data Rate の値を下げることにより、
通信を安定化させることが出来ます。

5.2 LAN

■LAN

IP Type	IP アドレスを手動で設定するか、自動取得するかを指定します。 Fixed(手動で設定します。) Dynamic(自動で取得します。)
IP Address	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。
DNS Server 1	1 つ目の DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	2 つ目の DNS サーバの IP アドレスを設定します(オプション)。
DNS Server 3	3 つ目の DNS サーバの IP アドレスを設定します(オプション)。
Host Name	ホストネームを設定します。

5.3 WAN

◆ここの値は変更しないでください。

5.4 BRIDGE

■General Bridge Parameters:

Default Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。

■Static Bridge Parameters

Deny PCs to access Internet except forward MACs	エントリされた MAC アドレスのフィルタリングを設定します。 Filter:指定した MAC アドレスからのアクセスをブロックします。 Forward:指定した MAC アドレス以外からのアクセスをブロックします。

MAC Address	フィルタリングする MAC アドレスを設定します。
LAN	フィルタリングするかどうかを設定します。
WAN 1-4	使用できません。
WAN 5-8	使用できません。

5.5 Ethernet

■Ethernet Parameter

AutoSense	オートネゴシエーションで接続します。
100Base-TX full duplex	100BASE-TX 全二重固定で接続します。
100Base-TX half duplex	100BASE-TX 半二重固定で接続します。
10Base-T full duplex	10BASE-TX 全二重固定で接続します。
10Base-T half duplex	10BASE-TX 半二重固定で接続します。
Disable	Ethernet ポートを無効化します。

5.6 STP

■Bridge STP Parameters

Mode

Disable	冗長化プロトコルを無効化します。
STP	STP を設定します。
RSTP	RSTP を設定します。

Bridge Priority:	ブリッジプライオリティを設定します。

5.7 ROUTE

◆本機能は未サポートとなります。

6 モデムのステータス表示 STATUS

6.1 SHDSL.bis

STATUS - SHDSL.bis

Status Information:

■ Run-Time Device Status:

SHDSL.bis Status	Value
SHDSL.bis Mode	CO Side
Line Rate(n*64)	0 Kbps

■ Performance Information:

Item	Local Side	Remote Side
SNR Margin	0 dB	0 dB
Attenuation	0 dB	0 dB
CRC Error Count	0	0

Clear CRC Error

Finish

■Run-Time Device Status

SHDSL.bis Mode	親機(CO)、子機(CPE)どちらのモードであるかを表示します。
Line Rate(n*64)	現在モデムがリンクしている速度を表示します。

■Performance Information

SNR Margin	SNR マージンを表示します。
Attenuation	回線の減衰値を表示します。
CRC Error Count	CRC のエラー数を表示します。

Clear CRC Error	CRC のエラーカウント数をリセットします。

6.2 LAN

■General status

IP Type	IP アドレスが自動取得か固定であるかを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
IP Address	IP アドレスを表示します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表示します。

■DHCP client table

Type	DHCP クライアントのタイプを表示します。
Client IP Address	DHCP クライアントの IP アドレスを表示します。
Client MAC Address	DHCP クライアントの MAC アドレスを表示します。

6.3 WAN

STATUS - WAN

WAN Interface Information:

ID	IP Address/ Subnet Mask	VPI/VCI	Encapsulation	Protocol	Flag
1	192.168.0.2/ 255.255.255.0	0/32	LLC	Ethernet	Down
2	---	---	---	Disable	---
3	---	---	---	Disable	---
4	---	---	---	Disable	---
5	---	---	---	Disable	---
6	---	---	---	Disable	---
7	---	---	---	Disable	---
8	---	---	---	Disable	---

6.4 Ethernet

■Ethernet Information

Media Type	通信方式を表示します。

6.5 ROUTE

■IP Routing Table Information

◆本機能は未サポートとなります。

6.6 INTERFACE

■Interface Statistics

STATUS - INTERFACE

Interface Statistics:

Port	InOctets	InPackets	OutOctets	OutPackets	InDiscards	OutDiscards
LAN	83193	692	154730	535	0	0
WAN1	0	0	0	0	0	157

reset

Finish

PORT	ポートを表示します。
InOctets	受信オクテット数を表示します。
InPackets	受信パケット数を表示します。
OutOctets	送信オクテット数を表示します。
OutPackets	送信パケット数を表示します。
InDiscards	受信廃棄パケット数を表示します。
OutDiscards	送信廃棄パケット数を表示します。

reset	全てのカウンタをリセットします。

6.7 STP

■Status Information

STP Mode	冗長化プロトコルの状態を表示します。

7 管理機能の設定 ADMIN

7.1 SECURITY

■Supervisor Profile and Security Parameters

Supervisor ID and Password

Supervisor ID	ユーザの ID を設定します。
Supervisor Password	既存のパスワードを入力します。
Password Confirm	新しいパスワードを設定します。

User Profile

ID	プロファイルの番号を表示します。
User Password	パスワードを表示します。
Password Confirm	パスワードを表示します。
UI Mode	操作モードを表示します。本製品は Menu モードのみサポートしております。

General Parameters

Telnet Port	Telnet で利用するポート番号を設定します。

7.2 SNMP

SNMP Community and Trap Parameters

ADMIN - SNMP

SNMP Community and Trap Parameters:

■ Table of current community pool:

Index	Status	Access Right	Community
1	Disable	---	---
2	Disable	---	---
3	Disable	---	---
4	Disable	---	---
5	Disable	---	---
Reset Modify			

■ Table of current trap host pool:

Index	Version	IP Address	Community
1	Disable	---	---
2	Disable	---	---
3	Disable	---	---
4	Disable	---	---
5	Disable	---	---
Reset Modify			

Cancel Reset Finish

Table of current community pool

Index	エントリの番号を表示します。
Status	エントリの状態を表示します。
Access Right	アクセス権限を表示します。
Community	コミュニティ名を表示します。

Table of current trap host pool

Index	エントリの番号を表示します。
Version	SNMP のバージョンを表示します。
IP Address	SNMP Trap ホストの IP アドレスを表示します。
Community	コミュニティ名表示します。

7.3 SYSLOG

Syslog Configuration

ADMIN - SYSLOG

Syslog Configuration:

- Syslog Service Setup

Syslog Server Service: Disable Enable

Facility: LOCAL_USE0

- Syslog Server Setup

Server Name:

Server Port: 514

Cancel Reset Finish

Syslog Service Setup

Syslog Server Service	Syslog を設定します。
Facility	プルダウンから選択可能です。選択可能な項目は local0-7 です。

Syslog Server Setup

Server Name	Syslog サーバの IP アドレスを設定します。
Server Port	ポート番号を設定します。

7.4 TIME SYNC

Time Synchronization

SYNC method

Sync with PC	接続しているパソコンとの同期
SNTP v4.0	未サポートとなります。

Time synchronization with client(Sync with PC 選択時)

Sync Now をクリックすることで接続しているパソコンと時刻同期を行います。

8 その他補完機能 UTILITY

8.1 SYSTEM INFO

MCSV	製品の内部的な識別コードを表示しています。
Software Version	ソフトウエアバージョンを表示しています。
Chipset	チップセットの情報を表示しています。
Firmware Version	ファームウェアのバージョンを表示しています。
Host Name	ホストネームを表示しています。
System Time	本製品の時刻を表示しています。
System Up Time	本製品が起動している日数を表示しています。

8.2 SYSLOG

UTILITY - SYSLOG

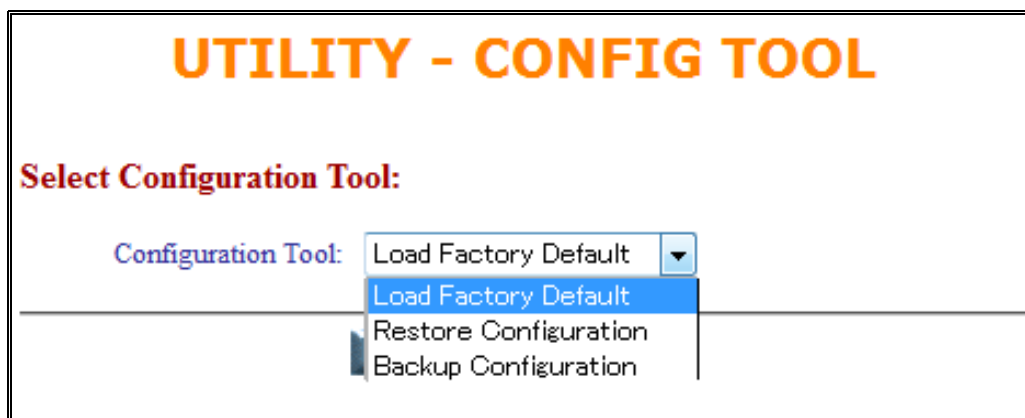
System Log:

1	<129>Jan 1 2002 00:00:00 SOHO System: Power Up
2	<129>Jan 1 2002 00:00:00 CO System: Power Up
3	<129>Jan 1 2002 00:00:00 CO System: Power Up
4	<129>Jan 1 2002 00:02:20 CO Shdsl.bis: ch:0 Link Up
5	<129>Jan 1 2002 00:02:21 CO Shdsl.bis: ch:0 Link Down
6	<129>Jan 1 2002 00:02:21 CO Shdsl.bis: ch:0 Link Up
7	<129>Jan 1 2002 00:02:24 CO Shdsl.bis: Local ch:0, DataRate:15288kbps, SNR:0 dB, Attn:0 dB
8	<129>Jan 1 2002 00:02:34 CO Shdsl.bis: Remote ch:0, DataRate:15288kbps, SNR:8 dB, Attn:1 dB
9	<129>Jan 1 2002 00:17:18 CO Shdsl.bis: ch:0 Link Down
10	<129>Jan 1 2002 00:00:00 CO System: Power Up
11	<129>Jan 1 2002 00:00:00 CO System: Power Up
12	<129>Jan 1 2002 00:00:00 CO System: Power Up
13	<129>Jan 1 2002 00:00:00 CO System: Power Up

Finish Refresh

System Log	Syslog を表示します。

※本モデムは電源 OFF/ON 後もログを保持する仕様となっています。

8.3 CONFIG TOOL

Select Configuration Tool

Load Factory Default	工場出荷時の設定を読み込みます。
Restore Configuration	過去のバックアップから設定を読み込みます。
Backup Configuration	現在の設定をパソコンに保存します。

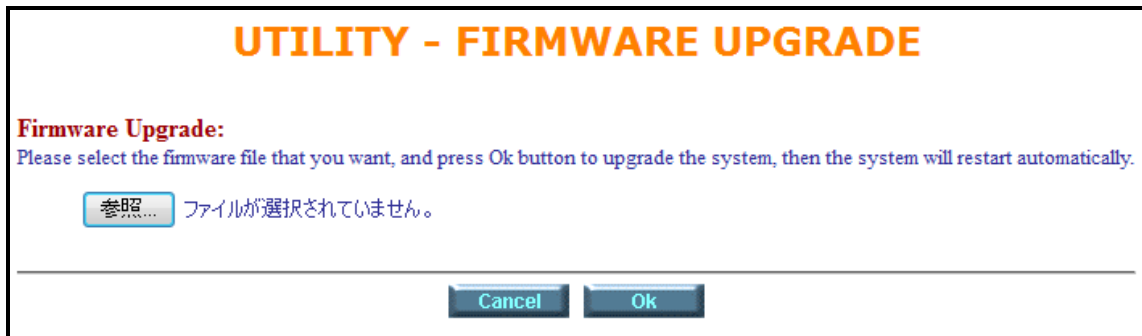
8.4 FIRMWARE UPGRADE

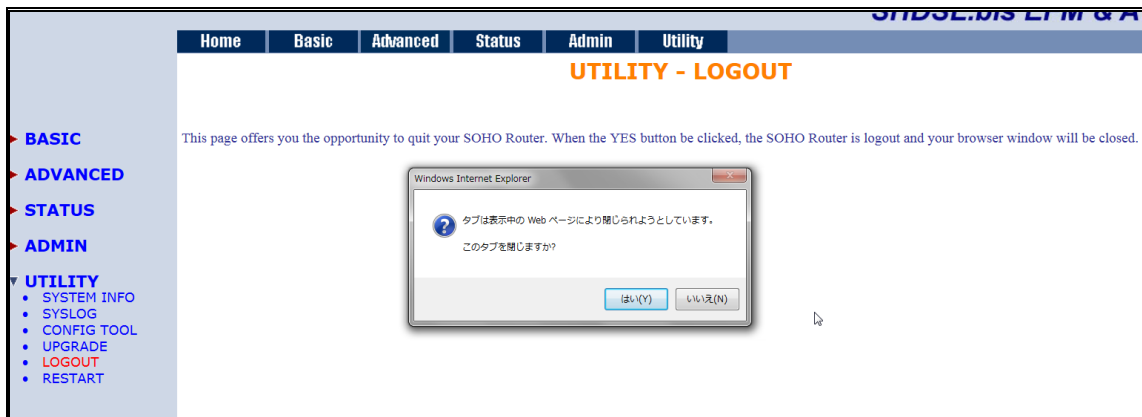
UTILITY - FIRMWARE UPGRADE

Firmware Upgrade:

Please select the firmware file that you want, and press Ok button to upgrade the system, then the system will restart automatically.

参照... ファイルが選択されていません。

Cancel Ok

参照	ファームウェアを選択します。
OK	ファームウェアを適用します。

8.5 LOGOUT

本ページを開いた後に表示されるポップアップウインドウに従い、「はい」をクリックしてログアウトすることができます。

8.6 RESTART

UTILITY - RESTART

This page offers you the opportunity to restart your SOHO Router. When the restart button be clicked, the SOHO Router is restarting and your browser session will be disconnected. This may appear as if your browser session is hungup. After the server restarts, you may either press your browser's reload button, or close your browser and re-open it several minutes later.

Cancel Restart

Restart	Restart ボタンを押すと本製品を再起動します。
Cancel	Cancel ボタンを押すと本製品を再起動しません。

9 コマンドライン(CLI)による操作

ABILINX 2515は、WEB ブラウザによる GUI 操作以外に、コマンドラインによる CLI 操作で設定することができます。CLI で操作を行う場合、モデムとの接続方法は、IP 接続・シリアル接続の 2 通りあります。

9.1 ログイン

ログインは、以下の手順で行います。

① 管理端末と ABILINX 2515 をシリアル、または IP で接続します。

シリアル接続

管理端末のシリアルポートと ABILINX 2515 の CONSOLE ポートをコンソールケ-ブルで接続します。

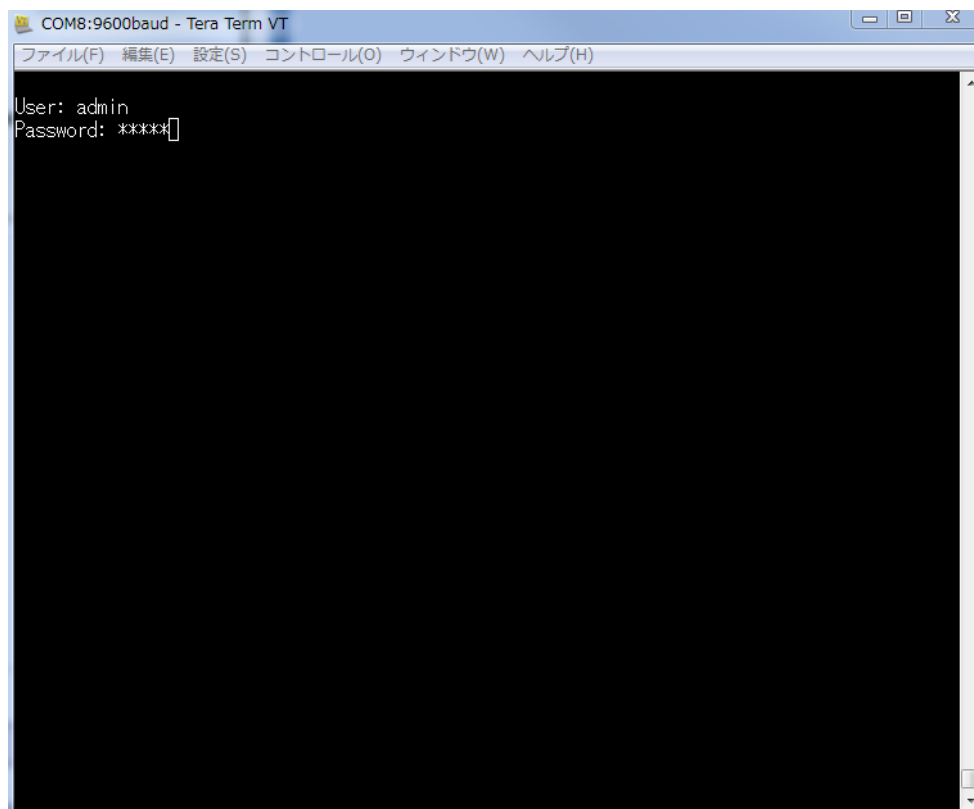
COM ポートの設定

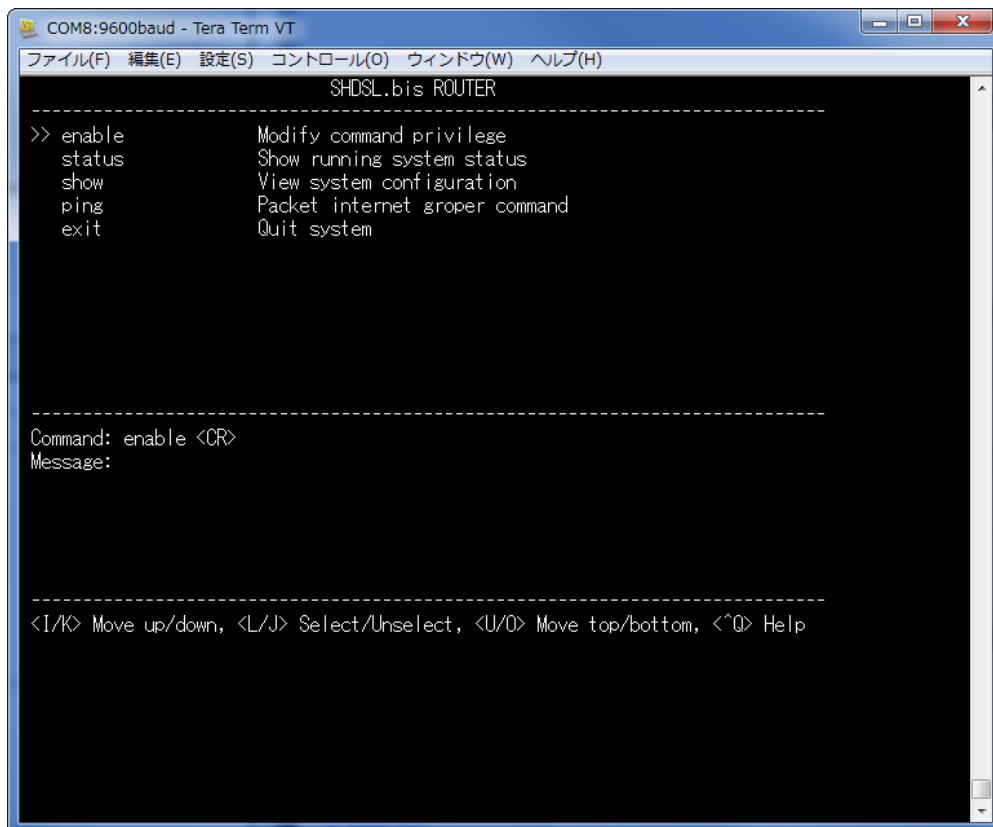
ボーレート	9600bps
データビット	8
パリティビット	なし
ストップビット	1
フローコントロール	なし

IP 接続

管理端末の LAN ポートと ABILINX 2515 の LAN ポートをストレート UTP ケーブルで接続します。IP 経由で接続する場合は、TELNET を使用します。TELNET のポート番号は TCP@23 となります。

② 次のログイン認証画面が表示されますので、ログインユーザー情報を入力します。

③ ウィンドウに何も表示されない場合は、Space キーを押し続けてください。

④ [User] が表示されたら User 名と Password を入力してください。

User	admin (デフォルト値)
Password	admin (デフォルト値)

⑤ 以上でログインは完了となります。

9.2 コンソール操作方法

U	一番上へカーソルを移動します
I	上へカーソルを移動します
O	一番下へカーソルを移動します
J	戻る
K	下にカーソルを移動します
L	決定
↑/↓	上,下にカーソルを移動します
→	決定
←	戻る
Enter	決定

※設定を変更した場合は、必ず機器を再起動して設定を保存して下さい。

9.3 コマンド一覧

・**enable** サブディレクトリはパスワードによって保護されています。
ログインするとサブディレクトリが表示されます。[初期パスワード: root]

setup
- mode モデム本体の Route/Bridge モードを設定します。
- shdsl.bis SHDSL を設定します。
  - shdsl.bis モデムの STU-C(親機)/STU-R(子機) を設定します。
  - max*64 最大データ速度を設定します。
  - min*64 最小データ速度を設定します。
  - type Annex Type を設定します。
  - margin ノイズマージンを設定します。
  - tcpam PAM を設定します。
  - probe LineProbe を設定します。
  - tclayer Layer を設定します。
  - clear CRC エラーカウントをリセットします。
- wan この項目は使用しません。
- bridge Transparent/Bridging を設定します。
  - gatewayy デフォルトゲートウェイを設定します。
  - static Transparent/Bridging を設定します。
    - deny_PCs 指定した MAC アドレスからのアクセスをブロックします。
    - add ブロックする MAC アドレスを追加します。
    - delete 追加された MAC アドレスを削除します。
    - Modify 追加された MAC アドレスを変更します。
    - list Bridging table を表示します。
- stp Bridge/STP を設定します。
  - mode STP モードを設定します。
  - priority STP ブリッジプライオリティを設定します。
- route この項目は使用しません。
  - static この項目は使用しません。
    - add この項目は使用しません。
    - delete この項目は使用しません。
    - list この項目は使用しません。
  - rip この項目は使用しません。
    - generic この項目は使用しません。
    - lan この項目は使用しません。

wan この項目は使用しません。
list この項目は使用しません。
lan LAN プロファイルを設定します。
ip_share この項目は使用しません。
nat この項目は使用しません。
virtual この項目は使用しません。
global この項目は使用しません。
fixed この項目は使用しません。
pat この項目は使用しません。
clear この項目は使用しません。
modify この項目は使用しません。
lis: この項目は使用しません。
dmz この項目は使用しません。
active この項目は使用しません。
dress この項目は使用しません。
dhcp DHCP パラメータを設定します。
generi DHCP サーバのパラメータを設定します。
active DHCP サーバを設定します。
gateway DHCP サーバのクライアント用デフォルトゲートウェイを設定します。
netmask DHCP サーバのクライアント用サブネットマスクを設定します。
ip_range 割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。
lease_time 最大リース時間を設定します。
name_server1 DNS サーバ 1 を設定します。
name_server2 DNS サーバ 2 を設定します(オプション)。
name_server3 DNS サーバ 3 を設定します(オプション)。
fixed DHCP サーバを利用した固定IPを設定します。
add: MAC ホストを追加します。
delete ホストを削除します。
relay DHCP サーバのリレーパラメータを表示します。
list DHCP サーバの設定を表示します。
dns_proxy DNS プロキシパラメータを設定します。
hostname ローカルホスト名を設定します。
default 工場出荷時の設定を復元します。

status 実行中のシステムの状態を表示します。
shdsl.bis モデムの状態を表示します。
lan LAN の状態を表示します。
wan WAN の状態を表示します。
route ルーティングテーブルを表示します。
interface インタフェースの情報を表示します。
stp STP の状態を表示します。
clear ステータスをリセットします。
show: システム構成を確認します。
system システムの情報を表示します。
confih すべての設定を表示します。
script: コマンドスクリプト内の全てのコンフィグを表示します。
write 設定を保存します。
reboot システムを再起動します。
ping 指定した IP アドレスに Ping を実行します。
admin 管理機能を設定します。
user ユーザプロファイルを設定します。
clear ユーザプロファイルを削除します。
modify ユーザプロファイルを変更します。
list: ユーザプロファイルを表示します。
seccurity システムのセキュリティを設定します。
port TELNET の TCP ポートを設定します。
ip_pool クライアント IP アドレスを表示します。
modify クライアント IP アドレスを変更します。
clear: クライアント IP アドレスを削除します。
list プロファイルを表示します。
snmp SNMP を設定します。
Community コミュニティを設定します。
trap トラップホストを設定します。
passwd パスワードを設定します。
Id ID を設定します。
sntp 時刻の同期先を設定します。

- merhod　時刻の同期方式を設定します。
- service　この項目は使用しません。
- time_server1　この項目は使用しません。
- time_server2　この項目は使用しません。
- time_server3　この項目は使用しません。。
- update_rate　この項目は使用しません。
- timezone_idx　この項目は使用しません。
- list　この項目は使用しません。

utility　アップグレードユーティリティを設定します。

- upgrade　ファームウェアをアップデートします。
- backup　現在の設定を PC に保存します。
- restore　保存された設定を読み込みます。

exit　本製品からログアウトします。

- utility backup

【機能】 TFTP サーバ経由でコンフィグファイルのバックアップを行います。
TFTP サーバの IP アドレスを入力後、Enter キーを押し下げすることで完了し、
その旨のメッセージが表示されます。

【書式】 utility backup <ip> <file>

【例】 下例では、IP アドレス 192.168.0.200 の TFTP サーバに対して、コンフィグファイルの
バックアップを実行しています。

➢ utility restore

【機能】 TFTP サーバ経由でコンフィグファイルのリストアを行います。再起動が必要となります。
TFTP サーバの IP アドレスを入力後、リストアしたいファイル名を入力、その後英文の質問に合わせて y を 2 回入力すると再起動が始まり、再起動完了後にコンフィグファイルのリストアが完了します。

【書式】 utility restore <ip> <file>

【例】 下例では、IP アドレス 192.168.0.200 の TFTP サーバから、コンフィグファイル “default.bin” のリストアを実行しています。

```
Utility Running Window...

TFTP server IP address: 192.168.0.200
Upgrade filename: default1.bin

  Connecting...
     3614 bytes
  Complete

Transfer Complete, Replace Now? (y/n): y

Writing flash... OK!

Do you want to reboot? (y/n): y
```

10 製品仕様

項目		仕様
製品名		ABiLINX 2515
伝送方式		SHDSL.bis: ITU-T G.991.2 (2004)
伝送速度		192Kbps～15.296Mbps
使用周波数帯域		0～2.5MHz
最大フレーム長		1570byte
管理機能		TELNET、SNMP、HTTP、コンソール
インタフェース	LAN	RJ-45 10/100BASE-T x1 ポート、 オートネゴシエーション・Auto MDI/MDI-X 対応
	LINE	RJ-45 x1 ポート
	Console	RS232 (D-sub 9 メス) x1 ポート
寸法		(W)190 x (H)33 x (D)145mm(突起部含まず)
重量		348g（本体のみ）
電源(AC アダプタ)		AC 100V 50/60Hz
最大消費電力		9W
動作温度		0～45℃
動作湿度		0%～95%（結露なきこと）
保存温度		-10～70℃
保存湿度		0%～95%（結露なきとこ）
規格・認定		VCCI class B
製品保証期間		1 年間
付属品		AC アダプタ RJ11-RJ45 変換ケーブル

11 よくあるトラブルとその対応について

11.1 モデムの電源が入らない

・ 各コネクタとケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
・ モデムの電源端子と AC アダプタとの接続
・ AC アダプタと電源との接続
・ 適切な電圧が供給されているかを確認してください。

11.2 SHDSL リンクが確立しない

・ 各コネクタとケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
・ モデムの CO（親機）・CPE（子機）の設定が正しいかを確認してください。
CO 同士、CPE 同士では SHDSL リンクを確立することができません。
・ 前面パネルにある Link ランプが定期的に点滅しており、10 分以上点滅の速度に変化が見られない場合、対向のモデムを認識できていません。各コネクタとケーブルの接続、モデムの設定に問題があるか、または、使用している回線に問題が発生している可能性があります。（対向のモデムとネゴシエーションをしている間、DSL ランプは高速に点滅します）
・ サージプロテクター（避雷器）が設置されている場合、取り外してからリンクを確認してください。
SHDSL が使用する周波数帯域をカットしている可能性があります。

11.3 SHDSL リンクが安定しない

・ 平ケーブル、カッドケーブルを使用した場合、ノイズの影響を受けやすくなります。
ツイストペアケーブル以外は使用しないでください。
・ 電源ラインから発生するノイズや、電話回線から侵入するノイズ（電磁雑音）が原因で、
SHDSL リンクが安定 しない可能性があります。ノイズフィルタ等によるノイズ対策のご検討をお勧めします。
・ 芯線の径が大きいケーブル、シールドされているケーブルを使用する。
また、回線分岐（ブリッジタップ）を減らすことで改善する可能性があります。
・ SHDSL リンクが安定しない、またはリンクに時間がかかる場合、
リンク速度をマニュアルで落とす、Target SNRM の値を変更することでリンクが安定する可能性があります。

11.4 Ethernet リンクが確立しない

・ 各コネクタとケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
・ モデムとのネゴシエーション設定が合っていない可能性があります。
接続する端末とモデムのネゴシエーションの設定、を確認してください。
初期設定は、オートネゴシエーションです。

・ Ethernet ポートが無効になっている可能性があります。モデムの設定を確認してください。

11.5 落雷・瞬断による機器の不具合について

・ 雷サージや瞬断により、使用する機器の動作に不具合を及ぼす可能性があります。
 サージ保護が可能な UPS 等での対策をお勧めします。

12 製品保証

◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間:
ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間:
《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）
《AC アダプタ》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
（修理できない場合もあります）

1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。

◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。

◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。

◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL　0570-060030

E-mail　support@hytec.co.jp

受付時間　平日 9:00～17:00